

久々に晴れた日のこと。雨水で柔らかくなった地面を掘って川づくり。何がきっかけなのかわかりませんが、奏人くんが穂岳くんの背中を思い切り叩きました。耐える穂岳くん。目の前にいる僕を気にせず叩き続ける奏人くん。逃げ出す穂岳くん。追いかける奏人くん。その二人について行く僕。追いついた奏人くんを今度は穂岳くんが叩き返す。でも、奏人くんが叩き返してこないで、穂岳くんが叩くのをやめる。そしてまた一緒に遊び始める二人…。このやりとりの間、どちらもほとんど無言、どちらも涙を流していない。奏人くんと穂岳くんの「怒り」は、互いの身体から出て、互いの身体の中に入り、消化されていったかのようでした。

こんなふう僕の前でぶつかり合いが起こることは度々あります。今回の二人のようにまったく僕がいることを気にせずぶつかり合う人もいます。一方で、大人の存在に気がつく、気持ちをぶつけるのをサッとやめる人もいます。前者は、大人が間に入ってから興奮状態は続き、お互いの言い分をはっきり主張し合い、ぶつかり続けます。「やれやれ」と思いますが、ぶつかり合うことで多くのことを学んでいます。後者は、大人と目が合うと、感情を身体奥底にぐっとしまい込むかのように黙り、怒りで拳げていた手を身体後ろに隠します。ぶつかり合いは収まりますが、気持ちは収まっていないはず。この姿、いろいろ気になることがあります。

- ・身体奥底に一度ぐっ押し込んでしまった感情はどこに行ってしまうのだろうか？
- ・そのような姿は、自分の感情をコントロールできる「いい子」なのだろうか？
- ・押し込まれた感情を引き出そうと大人が関わることは、その子にとってどういう影響を与えるのだろうか？
- ・何を察知して、感情を押し込めるのだろうか？
- ・大人がいなかったらぶつかり合い続けられたのだろうか？
- ・そもそも、どうしてそんなに大人の目を気にするのだろうか？

ぶつかり合いをやめてしまうことで、その子は多くの学びの機会を失っています。自分の気持ちを伝える。相手の気持ちを受け取る。勇気や決断。怒りや悲しみの取り扱い。気持ちや雰囲気切り替え。そのような学びの経験の少ない子どもは、どんなふうにおおきくなっていくのでしょうか。子どもたちがケンカをしない状況をつくることは簡単です。大人が目届く範囲に子どもを押し込めて、しっかり管理をし、ケンカをしていたら大人が思いっきり大きな声で怒ればいいのです。「ケンカをするのは悪い子！ みんな仲良くしなさいいけない！ 今度やったらもっと怒るからね！」と教え込み、脅せばいいのです。大人の言うことをよく聞くようになるでしょう。でも、そんなふうにして育った子どもは、大人の目届かないところではどう行動するのでしょうか。

ぶつかり合いは葛藤です。自分と他人との間の葛藤。自分の気持ちの中の葛藤。そういった葛藤の中から、自分自身の力でなんとかもがき苦しんで抜け出した時に、初めてその子は自立につながるきっかけとなるものを少しずつ掴み取るのだと思います。それには時間が必要です。早急で過大な大人の関わりは、これの邪魔でしかありません。

お願いがあります。ぴっぴの森は子どもたちにとっての聖地です。子どもたちの大切な学びの場です。それを守るのが大人の役割です。それは降園後も変わりません。ぴっぴの森で子どもたちが過ごしている間は、子どもたちの気持ちや関わりを最大限に尊重してください。大人の論理や価値観を勝手に大人のペースで押し付けしないでください。降園後の大人の姿も子どもの姿も気になっています…。

慎之介

二学期に入ってから まっぼくからのおおくりまでのおおきいくみでは 帰りの集まりなどで いろんな「話」をすることを考えています。「今日、何をして遊んだか」「たのしかったこと」「わらったこと」「うれしかったこと」そして「かなしかったこと」などをみんなが話し合います。

おおくりの集まりのこと。「今日楽しかったことある？」と質問すると おおくり同士の遊びをみんなが同じように答えました。そこで 質問を変えてみました。「いつも思っているんだけど、ぴっぴのみんなは すごいんだよわ〜。自分たちで遊びを考えて どんどん遊びをひろげていくでしょ？ だからいつもすごいなと 思っているんだよ」と言うと みんなの表情が 笑顔になり ぼくも嬉しくなりました。

「こんな遊び考えたよって ことある？」と聞くと… 男の子たちが 森の道の真ん中に穴を掘って、杖を置いて、葉っぱを掛けて、港と穴を作ったことを話してくれました。「なんで？なんで？」と聞くと 男の子たちが、その木の陰からみていたら 果はちゃんが 転ばなかつたけど 引、かか、た と 大笑いしながら みんなで話してくれました。「いやんな、ちゃう」となつめちゃんも大笑い。せ、せと 穴を掘っていたところを見ていたので 赤も大笑い。「面白いこと 考えろわ〜」と話が弾んできました。この日、真実くんが泣いてしまったということが ありました。その時は大人が行く前に「ごめんね」「いいよ」で 解決していましたが、この時間を使って 話をしようと考えてました。

「どういば、さき真実くん泣いてたわ。どうしたの？」と聞くと「武蔵にたたかれた。」と話ししました。「どうだったんだ。だから武蔵くんがごめんねって いたの？」すると うなずく武蔵くん。「武蔵くんは、嫌なことは なかつたの？」と聞くと「泥をかけられて 嫌だった」と話し、真実くんが「わざとじゃない〜」と応え…。ここで初めて 2人が 自分の思っていたことを ぶつけたようです。どうしても相手が泣いて ほうと 固まったり、どちらか 悪いと 決めて しまうことが 多いなと 感じている中、も、と 自分の思いを 出せると いいなと 思うのです。「泥かけるといばわ〜」って 怒って「わざとじゃない〜」って 怒っても いいんじゃないかな！ 友だちなんだもん 言いたいこと 伝えようよ！ 人間なんだもん。腹が立つこと もあるし、怒り することもある。だから 自分の言いたいことは 話そうよ。お互いの気持ちを 解かた上で その後の「ごめんね」「いいよ」のネガティブな 気持ち がいいな。ということ を 話すと 真実に 聞か入って うなずいて いました。

子どもたちの言葉や 思いを 引きだすのは 難しく 感じる時 もあります。集まりなどの 場所でも 自分の思いを 話すと なると 身も 構えて しまい、自分の身を守る ことの方が 先になって しまう ことも 多く あります。子どもの 緊張している 表情を みると まずは 自分自身の 話を 話し、大人だって 失敗している ことを 伝えたり、楽しい 話を して 心を ほぐしたり すると ちよと 困っている 話を スムーズに 話せる ような のです。ぴっぴの みんなが 気持ちよく 話す には どうしたら いいかな。相槌 ひとつ、言葉 ひとつ、考えて 話して いたいな… とも 考えて います。

まずは 自分が どう 感じて、どう 思っているか 伝える。そして 友だちが どう 感じて どう 思っていたか を 知る。これって 人と 人との 関わりの中 にとって 大切な こと なんだ かな。と思う のです。何かを 解決 させる ための 話し合い だけ じゃなく、どちらか 悪いと か どちらか 正しいと か 裁く 時間 でもなく、ただ 話す、知る、時間 が あって も いいなと 思いました。

この二学期は 友だちとの 関係も 深まる 時。そして ひとりひとりの 育ちを 感じる 時 でもあります。 試行錯誤 しながら 大切な 時を 過ぎて いく ことを 思っています。

美穂

お知らせ

台風休園や大雨の保育中断など。遊びたい子どもたちにとっては残念な二学期初めでした。いつのまにか、プール遊びも終了する気運に。秋めいてきました。毎日おひびに持って下るバッグの中も少レグを替えたいね。

・改めてどんぐりエントに入園したお二人をご紹介します。

1/2入園 加藤 友佳梨 ちゃん (2013.12.2生) 階一エント 友梨絵ちゃん

1/4入園 市川 沙季 ちゃん (2013.10.26生) 弓川行エント 陵子エント

よろしくお願ひいたします。

・次年度の継続を申し込まれた方の納入袋に、継続登録料の領収書を同封していただきます。

・えりんこ長いき 10/5(水) 10/9(水)
脱ぎやすい上着や靴下を お願いいたします。

・くまの日 10/12(水)
今年度最後にいたします。

・森の開放日 10/11(火) 10/28(金)

・10/14(金)に 今年度の県の監査があります。

・10/20(木)~21(金) <リ> おおくりさんは 清里キャンプに行きます。

10/20(木) 松ぼりちゃん は 通常保育。

10/21(金) どんぐり・松ぼりちゃん は 通常保育。ランチもあります。

・森づくり 10/23(日) 9時~ 作業終了まで。(雨などの振替日 10/30(日))

作業内容 森の整備・おひびの秋まつりに向けてベンチ作り

持ちもの 軍手、のこぎり、丸のこ、インパクトドライバー、チェーン

剣先スコップ 必要の方は 併当。

今年度最後の森づくりです。ご協力をよろしくお願ひいたします。

・保護者会 10/26(水) 9時20分~ バイブルメインホール

・万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。

・<リ> おおくりの保護者の方は 保護者会後、ひき続き、清里キャンプの報告会を予定しています。

・時間外託児「ほっけ」10月実施日。

5日(水) 6日(木) 7日(金) 12日(水) 14日(金) 17日(月)

19日(水) 26日(水) 28日(金) 31日(月) 1/2日(水)

27日(木) (田んぼ準備日との中止に際し可能性もあります)

・ホームページへお申し込み下さい。

・どなたでも必要な時はお使い下さい。

おおくりさんへの お知らせ

・ライジング 10/13(木)

・アート 10/17(月)・10/31(月)
アートセットを忘れないよう ご注意ください。

・田んぼ 10/24(月) 脱穀を予定しています。

・お料理 10/27(木)

・準備をお願いいたします。

11月のお料理日に 1Lの牛乳パック を使います。各々1本を準備しておいて下さい。

・おおくりさんは、今月より、各小学校で順次 就学児検診が始まります。

建材のご協力を お願いいたします。

冬に備えて、お焚火 併当 湯めを 併当 消費いたします。ご協力をよろしくお願ひいたします。

おおきいくみ 保護者の方の
「おとなのアート時間」のお知らせ

「びっぴの子どもたちは、テーマを伝えるよりもまずにこの自然の心地好さを感ずる」と話される郁絵さん。絵を通して子ども達の育ちを感ずり下ろしている郁絵さん。一人ひとりの名前や経歴をよく覚えている。

今年度も郁絵さんによる「おとなのアート時間」を企画いたしました。子ども達のアート時間を感ずりいただける時期に「おとなの」。

- ・日時 10月13日(木) 10時～11時頃
- ・場所 びっぴの森
- ・費用 1000円
- ・講師 小林 郁絵さん
ドイツ・スイスにてジュタナーの思想に基づく絵画方法を学び卒業。ギリシアの島での生活をを経て帰国。日本では介護の仕事に携わりながら、子どもと大人のための絵画教室を開いていらっしゃいます。
- ・持ち物の お子さんのアートセット・新聞紙 2~3枚
- ・人数 最少 5人 ~ 最大 10人
- ・申し込み 代金を添えて、申請に声をかけて下さい。先着順に下せていただきます。
- ・締め切り日 10月11日(火)

びっぴの森のスケッチブック 9月 シジュウカラ (四十雀)



コロコロとどんだりやクリの実が落ちる音がきこえる季節になりました。風もずいぶん涼しくなり、一雨ごとに森の木々が色づいてきます。そんな森の中で時折「チチチチ...」「ジュクジュクジュク...」「ツツツ...」「ヒヒヒ...」という賑やかな小鳥たちの声が聞こえてきます。上を見あげると色づいた葉の間には白と黒のコントラストが美しいシジュウカラの姿が。数えると1, 2, 3... 7, 8羽もいました。夕前の由来はしじゅういる(いつもいる)雀のような鳥、ということらしく、森の中で最もみる機会の多い里鳥です。背中や羽の色はモスグリーンで日の光を浴びるととても美しい。お腹の部分にはしっかりとシジュウカラの特徴でもある黒いネクタイがみられます! でも8羽のうち、よくみるとネクタイがグレーだった。ちと細めの子もいます。

実はグレーのネクタイは今年の夏頃生まれた新しいひなたちなのですよ。そして新しいネクタイはメス。キリッと太いのはオスのシジュウカラ。

この季節になると、シジュウカラは集団で行動することが多くなるので、みつけたらネクタイを見比べてみるのもおもしろいですよ。

ちなみに、春のなわばり争いの時、オスはその自慢のネクタイをみせてメスに求婚したり、オス同士(場合ナリ)します。そして、手入れのいき届いた(?)素直なネクタイをしているオスが選ばれたり、争いに勝つことが多いたようです。今ではかわりとした姿の新しいひなたちも来年の春に格好いいネクタイのシジュウカラへと変身できるでしょうか? 彼らにとって今からが、大事な季節となるのかもしれませんね。 : 菜々鬼

